

伊丹市立保健センター等複合化施設整備他工事設計委託業務  
プロポーザル審査結果報告

伊丹市立保健センター等複合化施設  
整備他工事設計委託業務プロポーザル審査会

令和元年8月2日に開催した伊丹市立保健センター等複合化施設整備他工事設計委託業務プロポーザル審査会（以下「審査会」という。）において、下記のとおり受託候補者を選定しましたので、報告します。

記

1. 経緯

本業務は池の埋立造成工事の実施設計及び診療施設を含む保健センター等複合化施設の建替えの基本設計と実施設計を行うものである。新施設は保健センターや休日応急診療所などの医療施設に加え、障がい者歯科診療機能を持つ口腔保健センター等の医療複合施設という特性を持ち、それらを十分に理解した上で複合的かつ高度な企画力・ノウハウが要求されることから、保健センター等複合化施設の基本設計及び実施設計を行う事業者の選定を公募型プロポーザルにより行った。

内容	実施期間
公示	令和元年6月26日（水）
質問回答	令和元年7月10日（水）
参加表明書等受付	令和元年7月16日（火）
書類審査結果通知	令和元年7月22日（月）
企画提案書等受付	令和元年7月29日（月）
ヒアリング審査	令和元年8月2日（金）

2. 審査委員

委員長	坂本 孝二	健康福祉部長
委員長職務代理	大橋 吉英	健康福祉部 保健医療推進室長
委員	伊藤 公男	総合政策部 政策室主幹
委員	中井 秀典	健康福祉部 保健医療推進室 健康政策課長
委員	岸本 哲也	健康福祉部 地域福祉室 障害福祉課長
委員	矢野 隆之	都市活力部 都市整備室 営繕課長

事務局：安全・安心施策推進班

### 3. 審査結果

#### (1) 一次審査（書類審査）

参加表明のあった2者のうち1者が辞退したため、残り1者について参加表明書等提出書類に基づき、事務局により参加資格要件を確認及び配置予定技術者の保有する資格、同種・同類の業務実績を評価した結果について報告を受けた。

その結果、1者をプレゼンテーション及びヒアリング審査（二次審査）の対象者とした。

#### (2) 審査方法の再審議

プロポーザル参加者が1者であったため、二次審査を実施する前に、審査会で改めて審査方法を審議した。その結果、プロポーザル実施要領に定めた失格基準（一次審査及び二次審査を合計した最終評価点100点満点中、50点未満）を参酌し、最終評価点のうち価格評価点を除いた90点満点中、45点未満であった場合は、受託候補者にならないこととした。

#### (3) 二次審査

事前に定めた評価基準に基づき、3つのテーマに対する企画提案書及び業務実施方針等の提案をもとに、プレゼンテーション及びヒアリング審査を実施して評価した。

#### (4) 総合評価

一次審査、二次審査における評価結果に、価格見積書による価格評価点を加えた合計を最終評価点とし受託候補者を決定した。

受託候補者：株式会社 山田総合設計

大阪府中央区大手通三丁目1番2号

代表取締役 深尾 元詞

評価項目	配点	得点	備考
配置予定技術者の資格	10点	7.50点	
配置予定技術者の業務実績	20点	5.20点	10年間の同種又は類似の業務実績
業務の理解度及び取組意欲	9点	7.20点	
実施方針の適格性・独創性・実現性	9点	6.30点	取組体制・設計チームの特徴・配慮事項
評価テーマに対する技術提案の適格性・独創性・実現性	42点	31.73点	3つの評価テーマに対して評価
価格評価点	10点	10.00点	見積価格：49,500,000円 予定価格：55,912,000円
最終評価点	100点	<b>67.93点</b>	

#### 4. 審査講評

受託候補者は高低差のある計画敷地の特性を十分に調査し、敷地の中心に東西及び南北をつらぬく遊歩道を配置するとともに、車両動線に対してはロータリーを設置することにより対応するなど、敷地内の歩車分離と周辺環境に十分に配慮されている点が評価された。一方で、検診車両の配置や動線など運用面を考慮した検討が必要である。

千僧今池の埋立造成にて整備される都市公園ゾーンも含めて、大勢の市民の健康づくりの拠点となる、集いやすい憩いの施設計画となっている点が評価された。

更に、平常時には保健センターにおける診療機能に休日応急診療所の診察室を一体的に利用できる拡張性を確保するとともに、インフルエンザ流行時には保健センターをインフルエンザ患者の受付、待合スペースとして利用し、休日応急診療所で診療、会計を行うことで一方通行の患者動線を確保するなど、通常時・非常時双方で機能するフレキシブルな平面計画が高く評価された。

提案者が1者であったものの、企画提案内容は新保健センター等複合化施設整備基本計画の内容を理解し、制約のある計画敷地に対して、これまでに培ってきた経験や技術力を発揮した魅力ある提案であった。

以上